

若林暢七回忌チャリティ・コンサート

ウクライナの子どもたちのために

澤ファミリーの

「こころ」と「いのり」の演奏会

With 鳥羽咲音



ヴァイオリン・ヴィオラ
澤 和樹



ヴァイオリン
澤 亜樹



ピアノ
蓼沼 恵美子



チェロ
鳥羽 咲音

2022年 9月3日 土 開場13:30 開演14:00

会場:坂東市民文化ホール ベルフォーレ

茨城県坂東市岩井5082 TEL 0297-36-1100

■アクセス 東京からの車の場合=首都圏中央連絡自動車道「坂東IC」より約10分。
無料駐車場完備

入場無料 要予約 (ソーシャルディスタンスで設定)

Program タルティーニ:ヴァイオリンソナタ ト短調「悪魔のトリル」
マスネ:タイースの瞑想曲
J.S.バッハ:G線上のアリア
サン=サーンス:白鳥
アイルランド民謡:ロンドンデリーの歌
マスカーニ:アヴェ・マリア
荒城の月、からたちの花、浜辺の歌、椰子の実、故郷 ほか
ブラームス:ピアノ四重奏曲 No.1 ト短調 Op.25
(プログラムは当日変更させていただくことがあります。ご了承ください。)

●「受付に募金箱を設置させていただきます。

この募金は「NPO 日本ウクライナ・モルドバ友好協会」を通してウクライナの障害を持つ子どもたちに届けられます。」

主催:一般財団法人 若林暢音楽財団

協力:社会福祉法人 慈光学園 後援:音楽之友社

予約お申し込み先:090-7255-8982(若林暢音楽財団) /
0280-88-0301(慈光学園)

魂のヴァイオリニスト
若林 暢 Nobu Wakabayashi



東京芸術大学、同大学院を経てジュリアード音楽院卒。博士号を取得。(この論文は2017年に音楽之友社から「悪魔のすむ音楽」として発売される)カーネギーホールで

のデビュー・リサイタル以後、アメリカ、ヨーロッパ、日本、中国、韓国など世界各地で演奏活動を行う。その演奏はNYタイムズ紙でも高い評価を受ける。ロンドンで発売されたデビューCDは欧米各誌で絶賛され、西ドイツ放送協会で収録された「アイヴズ:ヴァイオリン・ソナタ全集」はインターナショナル・リリースされる。ニューヨーク国際芸術家コンクール、モントリオール国際コンクールなどで優勝、ヴェニヤフスキー国際ヴァイオリン・コンクールでは優勝を逃したがヘンリック・シェリングに絶賛された。2016年6月に乳癌で亡くなる直前までヴァイオリニストとして演奏活動を行い、翌年ソニー・ミュージックレーベルズより発売された2枚のCDは大ヒットを記録し、年間ベストセラーCDクラシック部門ランキングの1位と2位を独占し、魂のヴァイオリニストと称せられた。



©Kenshu Shintsubo

澤 和樹／Kazuki Sawa(ヴァイオリン・ヴィオラ)

1979年東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニ、アフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'80年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナ両氏に師事。'84年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始。'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。'96より

指揮活動を開始。2003年、'04年には響ホール室内合奏団、'05年には東京弦楽合奏団を率いて英国各地で演奏し絶賛される。九州交響楽団、東京フィル、日本フィル、札幌交響楽団、紀尾井ホール室内管弦楽団等にも客演し好評を博す。ヴァイオラ奏者としては、これまでアマデウスQメンバー、グスタフ・マーラーQ、クスQ、カードウッチQらと共演。ヘンシェルQとは2008年にマックス・ブルッフの弦楽五重奏曲の世界初演及び世界初録音を、2012年にはスペイン王室所蔵のストラディヴァリウスによる弦楽五重奏を演奏し、絶賛された。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。東京藝術大学・英国王立音楽院名誉教授。



©Ayane Shindo

澤 亜樹／Aki Sawa(ヴァイオリン)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学首席卒業。学内にて安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。同大学院在学中の2010年より2年間、文化庁新進芸術家海外研修員として、英国王立音楽院に留学し、最高位のDiploma of Royal Academy of Music (DipRAM)を得て首席卒業。学内にてWilfrid Parry Prize, Roth Prize, Regency Award等多数受賞。ロンドン交響楽団2010/2011シーズンString Experience Scheme研修生に選ばれる。2014年、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。第17回パリ国際バッハコンクール・ヴァイオリン部門で第2位受賞。藝大モーニングコンサートに

出演、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。第36回藝大室内楽定期演奏会、第338回藝大定期「新卒業生紹介演奏会」に出演。また、ウクライナのキーウにてウクライナ国立フィルハーモニーと共演。2010年度青山音楽賞新人賞受賞。2012年松方ホール音楽賞受賞。2014年、東京文化会館にてデビューリサイタルを開催。2015年～18年度東京藝術大学音楽学部室内楽科非常勤講師。現在、同大学音楽学部弦楽科非常勤講師および藝大フィルハーモニア管弦楽団コンサートマスター。カルテット・オリーブメンバー。これまでにヴァイオリンを小林美恵、鷺見四郎、若林暢、ベラ・カトーナ、ジェラルド・ブーレ、ジェルジュ・パウク、ペーター・コムローシュ、玉井菜採の各氏に、室内楽を川崎和憲、大野かおる、河野文昭の各氏に師事。



©Daikan Usui

蓼沼 恵美子／Emiko Tadenuma(ピアノ)

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学首席卒業。「安宅賞」受賞。同大学院修了後、ロンドンにてマリア・クルチョ女史に師事。1983年、ミュンヘン国際コンクール、ヴァイオリン・ピアノ二重奏部門にてヴァイオリンの澤和樹と共に第3位入賞。1984年、東京にてソロデビューリサイタルを開催し、本格的な演奏活動を開始する。これまでに、国内外の著名アーティストとも多数共演、高い信頼を得ている。'04年には、妹、蓼沼明美とピアノデュオによるリサイタルを開催し、CD「姉妹デュオによる珠玉の連弾」をリリース。'11年、ヘンシェル弦楽四重奏団との共演によるCD「シューマン&ブラーム

スのピアノ五重奏曲」は音楽誌上で高い評価を受ける。澤和樹とのデュオ活動は40年以上におよび、フィンランドのクフモ、サヴォンリンナ、イギリスの湖水地方、アメリカのボウドイン、アイルランドのウェスト・コークなど、国内外の音楽祭に招聘されるほか、NHK-FM、BBC等にも出演。2006年の「ベートーヴェン：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全曲チクルス」は国内各地、イギリスでも成功を収めた。また、'14～'15年の「シューベルト、シューマン、ブラームスをうたう」シリーズのライブCDは、いずれも「レコード芸術」特選盤として紹介されている。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学講師。



©御堂義乘

鳥羽咲音／Sakura Toba(チェロ)

2005年ウィーンで生まれる。6歳から毛利伯郎氏に師事。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリングスのマスタークラスにも参加。第19回モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど数多くのコンクールで入賞、優勝。2019年サントリーホールで沼尻竜典指揮、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞。2020年特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースに入学。山田和樹指揮、横浜シンフォニエッ

タとも共演する。2021年「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学生。同年公益財団法人江副記念リクルート財団第50回奨学生および、公益財団法人ロームミュージックファンデーション(2021年度 2022年度)奨学生。Music Giving代表としてクラシック音楽の普及活動も行う。また国際的な活躍が期待される若い演奏家に贈られる「若林暢音楽賞」受賞。リッカルド・ムーティにも豊かな音楽性を高く評価される。2022年原田幸一郎指揮、富士山静岡交響楽団と共演、好評を得る。通算21回のチェロ・リサイタルを開催。2022年度よりベルリン芸術大学に入学、イエンス＝ペーター・マインツ氏に師事。